

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。 (令和3年12月31日~令和4年5月31日)

みんなの家 家族会様 こんふおーと・リアン 家族会様 鈴木 敏雄様
他匿名希望者 14名 (順不同)

寄付金 (令和3年度) 累計額 2,805,770 円
寄付金 (令和4年度) 累計額 844,000 円

節分レクリエーション



共同生活援助 班長 森重

2022年2月3日(木) 節分レクリエーションを開催しました。コロナ禍ではありましたが感染予防の徹底を心掛けることで利用者様に安全に楽しんでいただける時間を提供することができました。日本の伝統行事ということもあり家庭的な雰囲気を感じながら節分の日を「だんでらいおん」で過ごしていただけるようにとの思いから、手作りの恵方巻など各班で利用者様、職員と関わりを持ちながら昼食の準備、食事をしました。出来上がった恵方巻を「このまま食べる！」と丸かぶりされる利用者様もおられ、ご家庭での節分の様子を知る場面もありました。又、食事形態に関しましてはカップ寿司にするなど各班、利用者様のご希望に沿う形で召し上がっていただきました。午後からの豆まきでは桃太郎の鬼退治になぞらえ鬼退治後にお宝(ジュース等飲み物)をもらっちゃおうゲームを行いました。鬼の創作物や鈴をつけた鬼の的に豆(丸めた折り紙)を投げたり、鬼の顔を叩いたりそれぞれの方法で楽しそうに退治されていました。職員が顔をドーランで真っ白に塗りお多福さんに仮装して現れると面白いものに「ウケている」という笑い方や表情をされる利用者様もおられ、普段の活動では見る事のない各利用者様の様子に、職員にも嬉しい笑いが生まれました。「鬼は外、福は内」皆で鬼を退治して、たくさん笑顔がみられた一日。「笑う門には福来る」皆様の元にたくさん福が訪れる良い日になったのではないのでしょうか。



特定非営利活動法人 だんでらいおん
たんぼぼ通信
令和4年夏号
No.34
障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる
共生型の施設づくり及び地域社会を目指して

発行元: 特定非営利活動法人 だんでらいおん
発行責任者: 久保 哲哉
〒546-0023 大阪府東住吉区矢田5-9-8
TEL: 06-7668-1101
発行日: 令和4年7月25日

新型コロナウイルス感染症による クラスターの発生及び終息のご報告



居宅支援部 施設長 栗根 亮

3月3日(木)の朝、短期入所の利用者様1名の新型コロナ「陽性」が判明しました。前日、前々日に抗原検査を実施した際はいずれも陰性でしたが、その後、同日に短期入所を利用して他の利用者様や職員にも感染者が複数現れ、3月7日(月)に新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生との判断が下されました。新型コロナ「陽性」となった利用者様ですが、抗原検査では陰性だったものの、短期入所利用初日に咳の症状が見られていたため、そこで短期入所の利用を中止し踏み切っていたら新型コロナウイルスの流入は防げていました。これまで幸いにもクラスターが起ころずに済んでいたことで、判断に甘さが生じていたと思います。誠に申し訳ございません。その間に共同生活援助事業所の入居者様全員にPCR検査を実施しましたが、1名の陽性が確認されたため、短期入所事業所を活用して、感染者(レッドゾーン)、濃厚接触者(イエローゾーン)、非該当者(グリーンゾーン)でゾーニングを行い支援にあたりました。

この間、グリーンゾーンに従事する職員は後方支援として、毎日、担当長を決めて調理を行い、レッドゾーンに従事する職員や利用者様に温かい食事を提供することでストレスの軽減、ひと時の楽しみに繋がりました。また、現場職員の不安を払拭し勇気づけるため、管理職の一人はクラスターが終息するまでの間、毎日施設に泊まり込みし、他の管理職も交替で24時間指揮系統が働く体制づくりを行うことで、職員のモチベーション低下を防ぎました。3月21日にクラスターは無事終息しましたが、その間に感染者は利用者様8名、職員8名の計16名に上り、中には利用者・職員の家族様にも感染が拡大したという報告もありました。クラスター終息までの約3週間、生活介護事業所と短期入所事業所が休業となり、利用者様、家族様には多大なるご負担、ご心配をお掛けしました。また、共同生活援助事業所の入居者様も、この間は外出する機会も持たず、精神面の負担が大きかったと思います。皆様、誠に申し訳ございませんでした。今回のクラスター発生を教訓に、さらなる感染対策の強化として、感染が起りやすい(十分な換気が困難な)トイレ、更衣室に空気清浄機を設置し、緊急時でも即座に対応できるよう、N95マスク、防護服等も各支援現場に常備しています。

後日、イエローゾーンの利用者様に発熱が見られた際、一旦隔離して抗原検査を実施しましたが、7種類の抗原検査キットのうち、1種類のみ陽性反応が見られました。陽性が偽陽性か判断が難しい中、レッドゾーンへ分離するべきか頭を悩ませていた時に、NEAR法(約13分で結果が分かり、PCR検査とほぼ同じ精度の検査法)を実施している診療所の予約が取れたため、検査をしていただき、陽性と診断されました。そのままレッドゾーンへの分離となりましたが、抗原検査キットの精度の違いがあり、信用性の高いキットの存在を確認出来たことは大きな収穫です。それ以降、今回唯一陽性反応を示した抗原検査キットのみを定期注文しています。

あれから3ヶ月が経過した6月時点で、その間に新型コロナ陽性者が出たことはありませんが、即座にゾーニングを行うなど迅速な対応を心掛け、感染拡大を未然に防ぐことが出来ました。今後その時々で出来るベストな感染対策を行いながら事業を継続していくことで、利用者様、家族様がより安心して利用できるよう尽力して参ります。今後ともよろしく願いいたします。

公益財団法人JKA様より、新型コロナウイルス感染症対策の補助金を 助成していただき、AI顔認証サーモカメラを導入致しました。



この度、公益財団法人JKA様が「2021年度緊急的な対応を必要とする事業(新型コロナウイルス感染症の拡大防止策)補助事業」に採択いただき、補助金の助成をいただきました。それにより法人内にAI顔認証カメラ「DC506」を4台導入いたしました。コロナ禍で検温の重要性がある中、非接触でスピーディに検温とマスク検知ができるようになり、より安全・安心な環境整備が進んだと存じます。助成いただきました公益財団法人JKA様には心より感謝申し上げます。

編集 後記

新年を迎え、それぞれ新しい環境や変化にも慣れてくる頃かと思われませんが、皆様方におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか? 今年度初めの機関紙の内容は、昨年度に起きた新型コロナウイルス感染症によるクラスターのご報告からはじまり、行事関係や助成金によるサーモカメラ導入のご報告をさせていただいております。クラスターについては利用者様、家族様、沢山の皆様のご厚意やご協力により無事に乗り切ることができました。心より感謝を申し上げます。今年度もだんでらいおんと機関紙たんぼぼ通信をご愛顧いただけますようお願い申し上げます。(担当 川端・池田)



クリスマスレクリエーション

生活介護こんふおーと 主担 東中尾 竜治

はじめに、前田孝司様より頂戴したクリスマスカードとご寄付を活用させていただき、昨年末にクリスマス会を実施しました。この場をお借りして感謝申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの影響もあり、感染予防対策の観点から班ごとのクリスマス会を実施致しました。送迎時、乗車してから車内の装飾品を見て「イ

エーイ」「メリークリスマス」「やったー」など、楽しみにされている様子が見受けられました。

レクリエーションではゲームマスターからの指令書を職員・利用者様と一緒にクリアする内容で、ゲーム中は職員と協力する方や利用者様



自身でクリアする方等、積極的に参加される方が多かったです。昼食は利用者様が一番楽しみにされていた時間で、事前にアンケートで3種類のお店・ケーキを選んでいただき、注文した食事などを職員から受け取ると満足した表情で席に着いて食事を召し上がられていました。本年度も皆が楽しめるクリスマス会の企画を考えたいと思います。

新年会

生活介護こんふおーと 班長 福島

コロナ禍での開催も2回目となり、これまでたくさんの方の我慢を強いられてきた利用者様に少しでも楽しい一時を過ごしていただきたいと、秋頃から準備を始めました。密を避けるため参拝場所を分散、レクリエーションでは各班オリジナルの神経衰弱カードを日中活動の中で利用者様と一緒に手作りしました。毎年



恒例の行事ではありますが、今年は少しアレンジを加えての開催となりました。

新年会当日は晴天に恵まれ、利用者様、職員も穏やかな気持ちで行事に参加する事が出来ました。特に、昼からのレクリエーションではオリジナル神経衰弱など、各班、思い思いに過ごされ楽しまれている様子が写真等の記録にも残されています。コロナの拡大もなく、健やかに一年をスタートすることが出来ました。



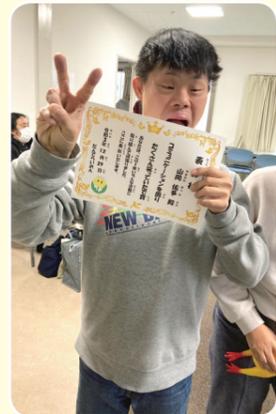
忘年会

共同生活援助 主担 城崎 恵美

コロナ感染者数が少し落ち着いていた令和3年12月29日、忘年会を開催しました。

感染予防対策は怠ることなく、午前中は1年間お世話になった施設や公園等の清掃活動を行いました。どの利用者様も雑巾やモップを手を持ち、積極的に清掃

活動に取り組まれていました。午後からは手作りおじやみをボールにしてパラリンピック競技のポッチャや、日中活動中に利用者様が作った紙のボールでの玉入れゲームなどをして楽しまれていました。最後に各班の担当職員がこの1年頑張られていた利用者様を称えて、表彰式を行いました。恥ずかしそうにうつむく方や両手を上げて表彰状を掲げる方、それぞれに良い笑顔を見せられ1年を無事に終える事が出来ました。



新春レクリエーション

生活介護リアン 主担 山下 逸

1月24日に新春レクリエーションを開催致しました。新型コロナウイルスの始まりから約3年の月日が経っていますが、いまだに終息の目途が立たず、利用者様・家族様には大きなご負担をお掛けしております。そんな中、「今年こそは」という思いを込めて、利用者様と職員が丸となって書き初めメッセージを作成致しました。利用者様、職員も、使い慣れない筆でも苦戦しましたが、皆で作成した文字を一字ず

つ繋ぎ合わせてできたメッセージは大変素晴らしいものとなりました。本当は全員で集合写真を撮りたかったのですが、「密」になってしまうため、班ごとに写真撮影を行い、メッセージの写真と合わせて一枚の合成写真を作成することになりました。いつまで今の状態が続くかはわかりませんが、「えガオーで過ごせる一年に!!」なるよう努めて参ります。

